

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名: **パワークロンG**  
製品種類: 骨材  
使用上の制限: 業務用  
会社名: シーカ・ジャパン株式会社  
住所: 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 赤坂Kタワー7F  
電話: 03-6434-7291  
緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811  
SDS No.:

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 分類できない

皮膚腐食性/刺激性: 分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 分類できない

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

誤えん有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 分類できない

水生環境有害性 長期(慢性): 分類できない

オゾン層に有害: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手洗い・うがいをする。  
必要に応じて保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

眼に入った場合、皮膚に付着した場合、清水で良く洗い流す。  
吸入した場合、飲み込んだ場合には、医師の手当て、診断を受ける。  
気分が悪い場合は、医師に連絡する。

保管

室内で風通しが良いところに貯蔵する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一物質  
化学名 : 二酸化ケイ素

成分名	含有量(%)	CAS No.
SiO <sub>2</sub>	89-92	14808-60-7
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	≤3	1344-28-1
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	3-5	1317-60-8

### 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い場合、呼吸に関する症状が出た場合は、医師の診断/手当てを受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を速やかに洗浄して下さい。気分が悪い場合は、医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。  
洗眼の際、まぶたを指で開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。  
目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすいで下さい。気分が悪い場合は、医師の診断/手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状

吸入した場合: 咳

応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

製品自体は不燃性の為、データなし。  
周辺設備に適した消火剤を使用する。

不適切な消火剤

データなし

特有の消火方法

データなし

消火を行う者の保護

消火作業は、適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク、吸気式呼吸用保護具、耐熱性着衣など)を着用する。消火作業は風上より行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

水洗、又は掃除機で回収し、発塵をできるだけ避けて下さい。  
呼吸器用保護具(例 空気呼吸器; JIS T 8155、送気式マスク; JIS T 8153)、不浸透性の保護衣、保護手袋及び長靴、保護眼鏡を使用する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出、飛散した場合には掃除機、スコップ、箒等により、出来る限り粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむを得ず床面等に残ったものは水で洗浄する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱いの際には、換気の良い場所で行う。  
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

局所排気、全体換気

屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

データなし

安全取扱注意事項

必要に応じて保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
取り扱う前にすべての安全注意を読み理解する。  
過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わない。  
接触回避:使用するまで密閉しておく。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

室内で風通しが良いところに貯蔵する。

避けるべき保管条件

直射日光及び高温多湿をさける。

配合禁忌

データなし

容器包装材料

特になし

## 8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(二酸化ケイ素) 0.282mg/m<sup>3</sup>

許容濃度

(二酸化ケイ素) 日本産衛学会(2006) 0.03mg/m<sup>3</sup>

(二酸化ケイ素) ACGIH(2009) TWA: 0.025mg/m<sup>3</sup>(R) (肺繊維症: 肺がん)

ばく露防止

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体(粒状)

色：データなし

臭い：データなし

融点/凝固点：1610°C(融点)

沸点又は初留点及び沸点範囲：2230°C(沸点)

可燃性：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：不燃性

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

粘度：データなし

動粘性率：データなし

溶解度

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：約2.5(真比重)

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

粉じんの拡散

危険有害な分解生成物

データなし

## 11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性 : データなし

局所効果 : データなし

感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

催奇形性 : データなし

発がん性

(二酸化ケイ素) cat.1A; IARC (100C, 2012) Gr.1 et al

(二酸化ケイ素) ACGIH-A2(2009) : ヒト発がん性の疑いがある

(二酸化ケイ素) 日本産衛学会-1 : 人に発がん性があると判断できる物質

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

(二酸化ケイ素) 呼吸器系 (SITTIG 4th, 2002)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

(二酸化ケイ素) 呼吸器、免疫系、腎臓 (SIDS, 2013)

誤えん有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性) 成分データ

(二酸化ケイ素) 甲殻類(オオミジンコ)LL50 > 10000 mg/L (SIDS, 2013)

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層破壊物質 : データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。

特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物、容器、内容物が付着したウエスなどの廃棄は、関係法令、地方/国の規則に従って廃棄する。

製品の処分は産業廃棄物処理専門業者に成分を明示して契約を締結すること。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

空容器は製品の残滓が入っているので、製品についての注意事項に従う。

毒性の蒸気やガスが発生するので、容器を電気又はガスによる加熱や溶断してはならない。

空容器は、業者による洗浄と修理をしないで再利用してはならない。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 該当しない

指針番号 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

- 転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
- 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

---

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

二酸化ケイ素

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

二酸化ケイ素

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

二酸化ケイ素

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

該当しない

---

## 16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上